

東北農業青年応援通信第106号

トピックス

1. 「あきたで生きる」のご紹介（東北農政局秋田県拠点）
2. 令和6年度「新鮮いわて農業チャレンジ体験研修」の参加者を募集します！（公益社団法人岩手県農業公社）
3. 宮城県作成のパンフレット「新規就農のご案内 2024」について（宮城県）
4. 「秋田型農業インターンシップ」及び「秋田県の農業研修・支援制度の御案内」（チラシ）について（公益社団法人秋田県農業公社）
5. 「農業労働力産地間連携等推進事業 産地事例ポータルサイト」のご紹介（株式会社マイナビ、株式会社マイファーム）
6. 【広報動画】一緒に農業はじめてみましょう！について（農林水産省）
7. 「令和6年度 農薬危害防止運動」の実施について（農林水産省）
8. 日本農業技術検定のご紹介（日本農業技術検定協会）

1. 「あきたで生きる」のご紹介（東北農政局秋田県拠点）

東北農政局秋田県拠点では、羊やジャンボウさぎ、山羊を飼養・販売するあきた牧場の武藤 達末さんを紹介しています。記事では、武藤さんの取組に感銘を受けて研修生として一緒に作業する山田さんや、日本ではマイナーな家畜の生産に取り組む思い等について読むことができます。

＜記事はこちらから＞

若き牧場主、羊とうさぎで秋田を盛り上げる：あきたで生きる

<https://www.maff.go.jp/tohoku/tiiki/akita/attach/pdf/index-37.pdf>

2. 令和6年度「新鮮いわて農業チャレンジ体験研修」の参加者を募集します！（公益社団法人岩手県農業公社）

（公社）岩手県農業公社では、岩手県内の様々な農業法人等で、無料で農業体験ができる「新鮮いわて農業チャレンジ体験研修」の参加者を募集します。農業や就農に関心があり、農作業体験を希望する方におすすめのチャレンジコース（1～2日）、岩手県内での就農等を考えており、研修先や雇用就農先を探している方にお

すすめのインターンシップコース（最長 5 日間）があります。定員がありますので、ぜひお早めにお申込みください！

＜詳しい応募方法や開催期間等はこちらから＞

新鮮いわて農業チャレンジ体験研修：（公社）岩手県農業公社 HP

<https://www.i-agri.or.jp/try/try-top/try-5397/try-5398/>

＜そのほか岩手県内の農業関係イベント情報はこちらから＞

就農イベント情報：（公社）岩手県農業公社 HP

<https://www.i-agri.or.jp/try/try-top/try-5400/>

3. 宮城県作成のパンフレット「新規就農のご案内 2024」について（宮城県）

宮城県では、就農希望者向けに、県農業の魅力や就農・定着までのステップ、県内の各市町村における就農支援体制等を紹介したパンフレットを作成・公開しています。

＜詳しい内容はこちらから＞

新規就農のご案内 2024：宮城県 HP

<https://www.pref.miyagi.jp/documents/41923/2024pamph.pdf>

4. 「秋田型農業インターンシップ」及び「秋田県の農業研修・支援制度の御案内」（チラシ）について（公益社団法人秋田県農業公社）

（公社）秋田県農業公社では、リニューアルした秋田型農業インターンシップ実施要領を掲載するとともに、参加希望者及び受入経営体を募集しています。併せて、同公社の「秋田県の農業研修・支援制度の御案内」（チラシ）において、就農前の農業研修や新規就農者への国や県による支援策を紹介しています。

＜詳しい内容やインターンシップへの応募はこちらから＞

秋田型農業インターンシップの紹介：秋田就農ナビ

<https://akita-agri-navi.com/%e7%a7%8b%e7%94%b0%e5%9e%8b%e8%be%b2%e6%a5%ad%e3%82%a4%e3%83%b3%e3%82%bf%e3%83%bc%e3%83%b3%e3%82%b7%e3%83%83%e3%83%97%e3%81%ae%e7%b4%b9%e4%bb%8b/>

秋田県の農業研修・支援制度の御案内：秋田就農ナビ

<https://akita-agri-navi.com/wp-content/uploads/2024/03/e56f7861fef74cde6250cfe3aaac15c5-1.pdf>

5. 「農業労働力産地間連携等推進事業 産地事例ポータルサイト」のご紹介（株式会社

社マイナビ、株式会社マイファーム)

株式会社マイナビでは、農業労働力確保支援事業等を活用した産地における農業労働力確保の取組事例等を紹介しています。農繁期の農業労働力の確保には、1日バイトアプリの活用や、他産地・他産業との連携等、様々な取組方法があります。

＜詳しい内容はこちらから＞

農業労働力産地間連携等推進事業 産地事例ポータルサイト：マイナビ農業

<https://agri.mynavi.jp/forfarmer/>

6.【広報動画】一緒に農業はじめてみよう！について（農林水産省）

農林水産省では、農業に関心のある方の就農を後押しするためのCM（動画）を作成しました。農業の魅力を発信するため、動画には様々な経歴から就農した方々に出演いただきました。

＜動画視聴はこちらから＞

【広報動画】一緒に農業はじめてみよう！：maffchannel（YouTube）

<https://www.youtube.com/watch?v=3SsnJ7L2lCY>

7.「令和6年度 農薬危害防止運動」の実施について（農林水産省）

農林水産省は、農薬を使用する機会が増える6月から8月にかけて、厚生労働省、環境省等と共同で、農薬の使用に伴う事故・被害を防止するため、農薬の安全かつ適正な使用や保管管理、環境への影響に配慮した農薬の使用等を推進する「農薬危害防止運動」を実施します。

＜詳しい内容はこちらから＞

「令和6年度 農薬危害防止運動」の実施について：農林水産省 HP

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/nouyaku/240426.html>

8. 日本農業技術検定のご紹介（日本農業技術検定協会）

日本農業技術検定協会では、農業現場への新規就農のほか、農業法人や関連企業等への就業を目指す学生や社会人などを対象に、農業専門の全国統一の試験を実施しています。令和6年度は7月6日（土）に第1回、12月7日（土）に第2回の試験が実施されます。（1級の試験は第2回のみ）

＜詳しい内容や申込はこちらから＞

日本農業技術検定試験のご案内：一般社団法人全国農業会議所 HP

<https://www.nca.or.jp/support/general/kentei/>



発行：東北農政局経営・事業支援部経営支援課

〒980-0014

宮城県仙台市青葉区本町3丁目3-1

TEL：022-221-6217

◇バックナンバーはこちらから↓

https://www.maff.go.jp/tohoku/keiei/new_farmer/ouen.html

◇このメールマガジンについてのご感想・ご意見がある方や配信停止をご希望される方は、下記メールアドレスまでご連絡ください。

tohoku_ag-seinen@maff.go.jp

